

編集後記

今年度も無事に、生活科学研究を発刊することができたことに心より安堵している。改めて、この研究所と紀要のネーミングを見て、その奥深さを感じさせられる。生活科学とは何か、とても多様な側面を含んでいると思われる。

私たちは、物質的な側面では大きな発展を遂げたと思う。しかしそれが本当に私たち人間を幸せにしたのか。それを使いこなすための知恵や心というものが、しっかりと伴われているのか。いささか疑問が残る。

本紀要に掲載された論文のタイトルを概観すると、生活を構成する多くの要素があることが示唆されている。ここで私たちが問われていることは、生活科学ということで多岐にわたる視点があることを羅列することではなく、いかに有機的なものとして統合し、知恵を導き出すことではないだろうか。

生活科学研究所 研究部主任 星野晴彦